

～人材は企業の宝、山形の未来～

平成31年度山形県製造業技術者研修

# 「食品の安全管理技術」

## 募集案内

### 《 参加のおすすめ 》

食品製造業者が消費者や取引先からの信頼を得るためには、社内の品質管理体制を整備することが重要なのは言うまでもありません。

また万が一、自社製品にクレーム等が発生した際には、科学的データに基づいた迅速な対応をとることが必要不可欠となります。

本研修では、食品の品質証明や安全性の評価にかかわる、微生物検査、食物アレルギー検査、異物の鑑別をテーマとして選定しました。企業の現場ですぐに活用していただけることを重視して、検査キットや簡単な器具等を用いた実習を主な内容としています。

本研修を品質管理担当者の育成などに活用していただきたく、ご案内申し上げます。

山 形 県

公益財団法人山形県産業技術振興機構

# 山形県製造業技術者研修

## 「食品の安全管理技術」課程

### 募集要項

日 時	第 1 日 令和元年 6月 18日 (火) 9:00 ~ 17:00 第 2 日 6月 19日 (水) 9:00 ~ 15:00
会 場	山形県工業技術センター 本館2階 第1研修室 (山形市松栄2-2-1)
講 師	日本細菌検査株式会社 仙台営業所 所長 北奥直樹 氏 一般財団法人 日本食品分析センター 多摩研究所 副主任研究員 穂田友子 氏 山形県工業技術センター食品醸造技術部 主任専門研究員 野内義之氏 専門研究員 長 俊広氏 専門研究員 城 祥子氏
受講対象	県内製造企業の技術者等
定 員	15名 (原則として申込書の先着順とします。定員を超えていて、受入不可能な場合は、連絡します。なお、応募者多数の場合、1社1名に調整させていただく場合があります。)
申込締切	令和元年6月4日(火)
受講料	23,000円
受講手続	別紙受講申込書をFAXしてください。(FAX:023-647-3139) 後日、受講決定通知書と県の納入通知書をお送りします。
納入方法	受講料は、後日送付される受講決定通知書および県の納入通知書が届いてから、納入通知書を添えて所定の金融機関の窓口で納付ください。 なお、納付いただいた受講料は、原則としてお返しできませんのでご了承ください。
修了証書	所定の課程(研修時間70%以上の出席)を修了した方には、修了証書が授与されます。)
申込み・ 問合せ先	(公財)山形県産業技術振興機構 研修課 軽部 毅靖 小林 久美子 〒990-2473 山形市松栄二丁目2-1 (山形県高度技術研究開発センター内) TEL:023-647-3154 FAX:023-647-3139

《 製造業技術者研修の受講にあたり、下記事項についてご承知ください。》

1. 受講者が研修施設及び器具等を故意または重大な過失により破損した場合には、その損害については、賠償していただくこととなります。
2. 研修中に発生した一切の傷病については、県および機構は責を負いかねます。

平成31年度

「食品の安全管理技術」研修カリキュラム

月日	時間	内容	講師
6/18 (火)	9:00~12:00	講義と実習 1-1 「微生物検査 ①」 検査キットを用いた微生物検査法の解説と実習 1. 一般生菌数 2. 大腸菌群 (検査試料の調製から接種まで)	日本細菌検査(株) 仙台営業所 所長 北奥 直樹 氏
	13:00~17:00	講義と実習 2 「食物アレルギーの検査」 検査キットを用いた食物アレルギー検査の解説と実習 1. 検査試料の調製 2. 検査の実習	(一財)日本食品分析センター 多摩研究所 安全性試験課 副主任研究員 穂田 友子 氏
6/19 (水)	9:00~12:00 (休憩)	講義と実習 3 「異物鑑別技術」 各種異物鑑別法の解説と実習 1. 光学顕微鏡観察(スンプ法など) 2. 材質判定法(プラスチック、繊維など) 3. 化学分析(カタラーゼ試験など) (各検査法の実習)	山形県工業技術センター 食品醸造技術部 主任専門研究員 野内 義之 氏 専門研究員 長 俊広 氏 専門研究員 城 祥子 氏
	13:00~14:00	実習 1-2 「微生物検査 ②」 検査キットを用いた微生物検査法の実習 1. 一般生菌数 2. 大腸菌群 (検査結果の判定)	

『受講生の皆様へ』

- ・実習を行いますので、動きやすい服装でおいで下さい。
- ・筆記用具と計算機をお持ち下さい。
- ・微生物検査実習用の検体(自社製品に限る、1検体以内)をお持ちいただけます。  
ただし試料の性状により実習に使用できないこともありますので、あらかじめ御了承下さい。

平成31年度 公益財団法人 山形県産業技術振興機構における各種研修事業 概要

	コース名	研修概要	研修時期	日数	定員	受講料
製造業技術者研修	1 品質管理	品質管理の考え方と実践を具体的な事例をとおして学び、品質管理体制の構築の手法を習得する。	9月	4日	32	24,000
	2 精密測定技術	精密測定の講義、ならびにマイクロメータの使い方・表面粗さなどの実習を行うことにより、精密測定技術の基礎を習得する。	7月	2日	12	22,000
	3 切削加工・研削加工技術	切削加工および研削加工について、講義および実習を通じて基礎的かつ実践的な技術力の習得を図る。	6月	2日	15	24,000
	4 製品設計・製造に役立つ金属材料学	工業製品の設計・製造に不可欠な材料について、鉄系材料を中心として基礎的な知識を習得する。また、強度試験、硬さ試験、組織観察等を通じて金属材料の評価方法を学ぶとともに、材料の特性と組織の関係等についても理解を深める。	11月	2日	18	23,000
	5 産業用ロボット特別教育研修	産業用ロボットの操作方法や、操作で必要となる知識について、習得する。労働安全衛生法により、現場導入に必要となる、教示等の業務に従事する者に義務付けられている研修である。	5月	2日	15	23,000
	6 異物解析技術入門	顕微赤外分光分析装置および超高分解能走査型電子顕微鏡を中心とした分析機器の原理や機能について、実際の装置の操作実習を通して学習する。また、分析に係る試料作成法や取得したデータの解析法等、現場で活用できる知識を習得する。	10月	2日	12	23,000
	7 プラスチック材料の射出成形と物性評価	プラスチック射出成形の基礎とプラスチック材料の熱的特性及び機械的特性の基本的な試験方法を習得し、プラスチック材料を利用する上での基礎的知識を学ぶ。	10月	2日	15	23,000
	8 清酒製造技術	各県を代表する有力杜氏や技術者を招聘し、技術解説を行っていただくとともに、酒質の変遷や今後の市場動向等について学習する。	8月～10月	6日	32	23,000
	9 食品の安全管理技術	食品製造における安全管理項目として重要な、①微生物検査、②異物鑑別、③アレルギー物質の検査、について基本技術の習得を目標とする。	6月	2日	15	23,000
	10 信頼性試験と加速試験の基礎(置賜)	電子機製造業を中心に重要性が高まる「信頼性」について、その概念から、基本的な信頼性技法、品質トラブルを未然に防ぐための考え方、加速試験の種類とデータ解析方法、部品調達の留意点までを、置賜試験場の試験装置の紹介を交えながら学ぶ。	10月	2日	12	23,000
	11 食品の品質管理(庄内)	食品衛生法の改定により、原則すべての食品事業者が「HACCPに基づく衛生管理」計画を策定することが義務付けられる。本研修では、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理について、本県の支援制度を含めて講義と実習を実施する。	8月	2日	12	23,000
人材育成研修	1 ものづくり産業マネジメント人材育成研修	企業の経営者のほか、管理部門リーダー、現場リーダー等を対象として、企業マネジメントや現場マネジメントに係る各種知識やスキルを習得するとともに、昨今の人手不足に対応するための生産性向上に向けた各種手法を習得し、参加者が自社における課題解決に対応する能力を高め、あわせて、新たに採用した社員を定着させるスキルを身につける。	9月～11月	5日	15	20,000
成長分野参入人材育成研修	1 自動車関連研修	自動車関連の新製品開発に向けた知識の習得を目指す。	8月	1日	15	2,500
	2 生産管理研修	納期を見据えた製造工程の管理方法の習得を目指す。	7月	2日	15	5,000
	3 在庫管理研修	在庫管理の改善によるコスト低減の手法の習得を目指す。	5月	2日	15	5,000
	4 生産改善研修	講義と現場実習を通して実践的な改善手法を学び自社の生産性向上を図る。	9月	3日	15	7,500
	5 現場リーダー資質向上研修	県内企業において、部下の積極性・意欲を高められるよう現場リーダー層の指導力向上を目指した研修を実施し、企業の組織力の強化を図る。	11月	2日	15	5,000
	6 ものづくり人材初級研修	ものづくり産業の基本や産業人の心構えを学ぶことにより、社員の意識向上、離職防止を図る。	6月11月	3日	15	7,500
	7 自動車部品ライブラリーの展示	自動車部品ライブラリーの展示及び部品貸し出しの実施 【展示場所:山形県高度技術研究開発センター 玄関展示ロビー】	通年	-	-	-
ロボットシステム育成研修	1 入門(営業技術コース)研修	ロボットシステムの導入プロセス標準「RIPS」の習得、並びに最適なロボットシステム導入に不可欠な工程分析、生産プロセス提案能力の習得を目指す。	7月	2日	20	10,000
	2 専門(ハード設計コース)研修	工業技術センターの協働ロボット仮想生産ラインを活用し、ロボットハンドの設計技術や把持計画など専門的なスキルの習得を目指す。	9月	2日	15	10,000
	3 応用(ソフト設計コース)研修	工業技術センターの協働ロボット仮想生産ラインを活用し、制御プログラムやセンサ対応能力などより高度なスキルの習得を目指す。	11月	2日	15	10,000

- ◆ お問い合わせ先 公益財団法人山形県産業技術振興機構技術部研修課  
〒990-2473 山形市松栄2-2-1 山形県高度技術研究開発センター内  
TEL : 023-647-3154/FAX : 023-647-3139/E-mail : info@ypoint.jp
- ◆ 募集案内および応募方法は、およそ1か月前に山形県産業技術振興機構ホームページ <http://www.ypoint.jp/> に掲載予定です。
- ◆ 研修内容及び研修時期については、講師の日程調整等により変更になる場合があります。

平成31年度山形県製造業技術者研修受講申込書

「 食品の安全管理技術 」 課程

会社名						
所在地	〒 -					
TEL				FAX		
受講者との 連絡担当者	所属			役職		
	ふりがな	.....				
	氏名					
	E-mail					
受講者	所属			役職		
	年齢			勤続年数		
	ふりがな	.....				
	氏名					
	E-mail					
受講者	所属			役職		
	年齢			勤続年数		
	ふりがな	.....				
	氏名					
	E-mail					